

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位



ニフレル×大阪大学『サイエンスカフェ』参加者募集！ 「～魚の美しい“もよう”に秘められた仕組み～」

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2017年3月11日（土）に、サイエンスカフェ「～魚の美しい“もよう”に秘められた仕組み～」を開催し、これに参加する20名様を募集いたします。



魚の美しい“もよう”は、皮膚にある「色素細胞」が体のどこにあるかで決まります。また、その色素細胞の組み合わせや重なり方、光の当たり方などによって濃淡ができ、多種多様な“もよう”ができあがります。

そこで、魚の“もよう”がどのようにしてできるかのお話と、プランクトンや、魚の色素細胞が“もよう”を作る様子を実際に顕微鏡で観察しながら、秘められた仕組みを解説するサイエンスカフェを開催します。

このサイエンスカフェは、現在ニフレルで開催中の『冬にふれる「生きもののもよう」(平成28年12月8日資料提供済み)』の関連イベントとして、生物の模様研究の先駆けである大阪大学生命機能研究科パターン研究室とともに開催するものです。

当日は、ニフレルのピクニックカフェ「イート イート イート」にて、出来立てのドリンクを飲みながら、大阪大学の近藤滋教授によるお話と、普段は見ることのできない生物の“もよう”の観察を解説付きで皆様にご覧いただきます。また、生きものに関するご質問には、ニフレルのキュレーターがお答えいたします。

【～魚の美しい“もよう”に秘められた仕組み～】

《プログラム1》 「プランクトンがつくる自立的な“もよう”の観察」

《プログラム2》 「ゼブラダニオの“もよう”を構成する色素細胞の観察」

《プログラム3》 「生きものQ&A～キュレーターに聞いてみよう～」

※参加者の皆様と一緒にワークショップ形式です。おすすめです。

《 講 師 》 近藤 滋(大阪大学教授)、澤田莉沙(大阪大学)、棚田麻美(ニフレル魚類担当キュレーター)

お問い合わせ：NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前
TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



【開催要項】

- 日時/場所 2017年3月11日(土) 17:00~18:00 ニフレル2階カフェ「イート イート イート」
- 対象/人数 小学生以上、合計20名。 ※小・中学生の参加には18歳以上の保護者の同伴が必要
- 料 金 500円(ニフレル入館料が別途必要) ※1ドリンク付き
- 応募方法 下記の①~③を明記のうえ、下記の専用アドレスにお申込みください。

専用アドレス nifrel_sc@nifrel.jp

①代表者の氏名、年齢

②代表者の住所、メールアドレス、携帯電話番号

③同伴者の氏名、年齢 (同伴者1名までご応募いただけます。)

※個人情報本イベントに関わる目的にのみ使用いたします。

- 締め切り 2017年3月5日(日)着信有効
- 当選発表 応募者多数の場合は厳正なる抽選を行い、3月6日(月)に当選者にのみメールでご連絡します。
- お問合せ NIFREL事務局 0570-022060(ナビダイヤル)
- 主 催 生きているミュージアム「NIFREL」
- 協 力 大阪大学

【講師の紹介】**近藤 滋(こんどう しげる)**

京都大学医学博士。徳島大学教授、理化学研究所チームリーダー、名古屋大学教授を歴任し、2009年より大阪大学大学院生命機能研究科 教授。1995年に、タテジマキンチャクダイの体表の縞模様がチューリング・パターンという化学反応の波であることを、数理シミュレーションと実験で確認する。主な著作に『波紋と螺旋とフィボナッチ-数理の眼鏡でみえてくる生命の形の神秘』学研メディカル秀潤社など。

**澤田 莉沙(さわだ りさ)**

大阪大学大学院の博士課程学生。近藤教授のもとで、魚の模様形成に関する研究を行っている。研究成果や専門的な知識を社会に広める活動に興味があり、昨年10月よりNIFRELにインターンシップで勤務している。これまでに、生き物の色や模様についてのコラム執筆やNIFREL職員に向けたセミナーを実施。趣味は、全国の水族館を巡ることや、生き物のイラストを描くこと。

**棚田 麻美(たなだ まみ)**

生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」魚類担当キュレーター

海遊館で飼育員として海獣類(アシカ・イルカ・ラッコなど)を担当した後、NIFREL開業時より、魚類チームの中心となって魚類をはじめ、無脊椎動物・両生類・爬虫類の飼育管理をおこなうほか、地域の小学校で淡水フグの飼育についての解説も行う。趣味は動物園・水族館をめぐって生き物の写真を撮ることや、フットサルやバスケットボールなどで身体を動かすこと。

《生きているミュージアム『NIFREL』 施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10:00～20:00 最終入館は 19:00
休 館 日	年中無休 ※年1回設備定期点検のための臨時休業がございます。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる(生きもの約 150 種・約 2000 点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m ² ・112 席)、スーベニアショップ [®] (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人(16 歳以上)・高校生 1,900 円、小・中学生 1,000 円、幼児(3 歳以上)600 円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分
駐 車 場	約 4,100 台(EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S 造 (一部 SRC 造、RC 造) 3 階建
建 築 面 積	約 3,500 m ² (約 1,060 坪)
延 床 面 積	約 7,200 m ² (約 2,180 坪)

※ 公式ホームページ	http://www.nifrel.jp
※ ツイッター	http://twitter.com/nifrel_official
※ FaceBook	http://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL